

館報 教育記念館

No.76

平成23年3月 発行



お見事
「富山県造形教育作品展」
共同作品「みんなでコンサート」



「宇宙の夢を語る」
アイディアロボットフェスタ・チャレンジデー
演会の大西浩次講師と参加者とのギャラリートーク

主な内容

◎教育時評 富山県中学校長会 会長 山本 晶	2
◎富山県教育記念館「郷土先賢室」歴代顕彰者一覧	3
◎22年度 1階ギャラリー 後期恒例展	4
◎「わが校の歴史から・・・長い歴史に幕」	6
◎「学ぼう！ふるさと未来」支援事業、実践活動報告会	8
あとがき	



発行所/財団法人 富山県ひとづくり財団 富山県教育記念館 〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1
 TEL(076)444-2000 FAX(076)444-2001 E-mail:toyama@t-hito.or.jp http://www.t-hito.or.jp
 (教育記念館会議室ご利用の場合 ☎(076)433-2770)
 発行人/富山県教育記念館 館長 伏黒 昇 印刷所/いおざき印刷株式会社



子どもをはぐくむ大人の本気

富山県中学校長会

会長 山本 晶

日本経済が右肩上がり、幹線道路沿いにショッピングセンターや遊技施設が次々と建設されていたころ、勤務していた中学校の生徒から、「大人はいいね。やることをやれば後は遊べるもの」と言われ、ショックを受けたことを覚えています。生徒の多くは、駐車場にあふれる車を横目に、部活動で疲れた体に大きな荷物を抱え帰宅していたのです。家でも宿題や入試に備えた学習が待つ生徒にとって、うらやましい限りの大人の姿だったかもしれません。

これでは、生徒にとっても大人にとってもよくないと考え、若い教師を誘って「職場訪問」を計画しました。職場の裏側を見られることやその日の仕事が滞ることへの懸念、けがの心配等があったはずですが、事業所からは献身的な協力をいただきました。真夏に塩をなめながらの作業が続く鋳物工場や根気強く繰り返される漆器製造の仕事場での作業体験によって、生徒は、大人の本気さ、大変さを知るとともに、機会を与えられたことへの感謝の念をもつことができました。その経験は、平成11年に始まった「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業を立ち上げる際、大いに役立ちました。

「14歳の挑戦」事業は、1年目、27中学校で実施されました。大きな組織を束ねる部署から、「県内の事業所が困っているから協力依頼をしないように各学校に伝えてほしい」と言われ、情けない思いをしたことがありました。逆に、「これからは社会貢献の意識がない事業所は立ち行かない」と言って、励ましてくださる方もいらっしゃいました。

県下の全中学校で実施されるようになって10年が経過しましたが、初年度のことは今も鮮明です。生徒を受け入れる事業所、学校以外の所へ送り出

す保護者、見えない所に預ける学校の三者が、5日間のプログラムの作成や安全の確保、事業の趣旨の徹底等に向けて、手探りで力を合わせました。そのことによって、どこも大変な思いをしていることを知るとともに、互いに対する信頼感がより強固なものになりました。若い教師が地域の方とかわる中でたくましくなったという声も聞きました。また、世の中全体に少しでも楽な方へと考える傾向が目立ち始めた中、中学生のひたむきな姿は見る人の心を打ちました。中学生は、自分たちのために、多くの大人が真剣になってくれる社会の温かさを実感することができました。中学生も含めた四者が、それぞれに充実した思いを味わうことができたと思っています。

思うに、この事業は地域社会と保護者、学校が、生徒の実態と互いの教育力の足りない面を共通認識することからスタートしています。生徒にはぐくむべき力を実現するために、互いを非難することなく、また成果を学校が独り占めすることなく、達成感も負担感もともに分かち合ったところに12年間も継続されている理由があります。

すばらしい事業ですが、今一部に大変だという声があると聞くことがあります。確かに、長い間継続することは容易なことではありません。子どもたちのことを何よりも思う県民性のお陰で実現できたのだと感謝しています。しかし、私は、大人が大変な思いをするからこそ中学生に掛け替えのない力をはぐくむことができていると思っています。今後とも、大人が真剣にかかわることにより、中学生が真の感動を味わったり、自分について深く考えてみたりすることができるよう願っています。子どもたちに必要な力をはぐくむ場では、常に大人の本気が問われるものと思っています。

富山県教育記念館「郷土先賢室」顕彰者一覧

回	タイトル	顕彰者	回	タイトル	顕彰者
1	本県の産業の振興に力を尽くした実業家	山田 昌作	61	わが国の産業の発展に尽くした実業家	浅野 総一郎
2	伏木港近代化の恩人、本県最初の公立小学校の設立者	藤井 能三	62	ロマン主義の小説家・演芸評論家	三島 鶴川
3	郷土の興隆に生涯捧げた農政家	麻生 正蔵	63	富山県の盲教育の創始者	並木 文右衛門
4	本県幼児教育の先駆者	垂武果 マーガレット	64	国益と郷土発展に尽くした政治家	上埜 安太郎
5	入善を愛した作家	柏原 兵三	65	富山県の中等教育の基礎を築いた政治家	大橋 十右衛門
6	浄土真宗本願寺派の学僧	高雄 義堅	66	水害を克服し、地域の産業の振興に尽くした政治家	浅野 長太郎
7	水力発電のバイオニア	金岡 又左衛門	67	日本経済の発展、国際交流に貢献した実業家	河合 良成
8	日本と西洋との文化交流に尽くした先覚者	林 忠正	68	稲の品種改良に取り組んだ農業者	石黒 岩次郎
9	「農民の父」と仰がれた農政家	森丘 正唯	69	婦人会活動の指導者	東 外枝
10	富山県僻地教育の功労者	山崎 兵蔵	70	相撲界中興の祖	梅ヶ谷 藤太郎
11	わが国の発展につくした政治家	松村 謙三	71	県政史上初の女性議員	池淵 正
12	焦土真宗本願寺派の学僧	梅原 貞隆	72	広告業の先駆者	瀬木 博尚
13	北アルプスガイドの花形	宇治 長次郎	73	昭和の赤ひげ	清水 鎮治
14	北アルプスガイドの指導者	佐伯 平蔵	74	勇助塗りを創案した漆芸家	石井 勇助(2代)
15	北アルプスの名ガイド	志鷹 光次郎	75	売薬版画の全盛期を築き上げた売薬絵師	尾竹越堂、竹坡、国親
16	世界的な生化学者、発明家	高峰 謙吉	76	「時計台の鐘」の作曲者	高階 哲夫
17	民間テレビ放送の創始者	正力 松太郎	77	本県の女性解放運動のリーダー	星 かつ糸
18	郷土の生んだ児童文学者	大井 冷光	78	日本の社会教育の先駆者東京音楽学校校長	乗杉 嘉壽
19	郷土の生んだ蘭医学者	坪井 信良	79	大日本消防界の先駆者	長谷川 庄蔵
20	郷土の生んだ国語・国文学者	山田 孝雄	80	通信事業一筋に生き抜いた官僚	大橋 八郎
21	治山治水工事に貢献した実業家	佐藤 助九郎	81	測量と地図作製に生涯をかけた和算家	石黒 信由
22	郷土が生んだ発明家	川原田 政太郎	82	農業の父	大石 齋治
23	多くの稲の新品種を創り出した理学博士	盛永 俊太郎	83	井波最初の専業彫刻師	田村 与八郎
24	通信電話事業の発展に尽くした人	宇田 新太郎	84	民俗学的学問の先駆者	大間知 篤三
25	チューリップ栽培に尽くした篤農家	水野 豊造	85	近代俳句の発展に貢献した俳人	筏井 竹の門
26	初等教育に尽力した教育者	山本 宗平	86	看護界の星	大野 ヨリ
27	社会問題に関する調査研究の先覚者	横山 源之助	87	小作組合を結成した農政家	萩原 正清
28	人間国宝の陶工	石黒 宗磨	88	音楽教育一筋に生きた教育者	福井 直秋
29	多彩な言論活動を展開した新聞人	井上 江花	89	農業の発展に尽力した勲業僧	荻波 浄慧
30	本県の自然を愛し詩にした詩人	田中 冬二	90	近代日本の金融王	安田 善次郎
31	裸一貫から巨億の財を築き上げた実業家	大谷 米太郎	91	橋梁分野で業界トップに育て上げた実業家	川田 忠雄
32	北海道开拓に力を尽くした実業家	沼田 喜三郎	92	定置網に命をかけた男	酒井 光雄
33	本県の高等教育の普及・充実に尽力した教育者	南日 恒太郎	93	江戸・明治初期に優れた建築家	清水 喜助(初代)
34	富山県の分離独立に力を注いだ政治家	米澤 紋三郎	94	江戸・明治初期に優れた建築家	清水 喜助(2代)
35	氷見市仏生寺に生まれた行政家	南 弘	95	異彩を放ち続けた不屈の水墨画家	笹 牛人
36	旧制富山高等学校の創設者	馬場 はる	96	立山の自然を愛した「トンコ」	佐伯 富雄
37	立山アルペンルートの父	佐伯 宗義	97	郷土を愛し、信念を貫き続けた実業家	黒田 善太郎
38	郷土立山を愛した文人	翁 久允	98	芸術文化、能文化の国際交流に尽くした男	本川 藤由
39	日本人初のシベリア大陸横断を果たした探検家	嵯峨 寿安	99	火力乾燥機を発明し、富山県産米の改良に貢献した人	金岡 甚三
40	コシヒカリやササニシキの原種の育成者	鉢川 清香	100	戦後の富山県看護教育の基礎を築く	牧田 せき
41	郷土の鉄道建設に夢をかけた男	大矢 四郎平衡	101	女性の地位向上に尽くした人	大窪 マスミ
42	人を愛し、自然をアイした不屈の作曲家	室崎 琴月	102	重要文化財保持者となった彫金作家	金森 映井智
43	高岡梵鐘の名声を響かせた鋳物師	老子 次右衛門	103	「善の道」という経営哲学に基づき、世界的企業を作り上げた実業家	吉田 忠雄
44	越中のモース	早川 莊作	104	縫製技術の近代化を確立した人	安部 清
45	焦熱地獄の中で「黒三」建設に夢をかける技術者	今村 常吉	105	女の人生を描き続けた女流作家	小寺 菊子
46	近代登山の草分け	田部 重治	106	「民謡おわら」を芸術の域まで高め、今につないだ人	川崎 順二
47	「上野式ブリ大敷網」を完成させた漁業家	上野八郎右衛門	107	現代舞踊の発展に努めた県舞踊会の第一人者	可西 加代子
48	農村の一大改革をなした篤志家	藤井 十三郎	108	呉羽梨の慈父	土池 弥次郎
49	北陸随一の寺小屋を支えた文武両道の教育者	小西 有義	109	水力発電の実現に青春をかけた人	密田 孝吉
50	郷土の政治、産業の発展に尽くした政治家	金山 従革	110	本県書道教育の礎を築いた人	青柳 石城
51	自由民権運動の先駆者	島田 孝之	111	西陣織の技術改良に尽くした実業家	川島 甚兵衛
52	剣岳の大持	佐伯 文蔵	112	北陸近代医学・科学の祖	黒川 良安
53	日本を代表する生理学者	石川 日出鶴丸	113	ユーモア小説の直木賞作家	源氏 鶏太
54	未開原野の開墾に尽力した実業家	内野 信一	114	人の生きざまを演じた異色の演技派女優	左 幸子
55	教育県富山の基礎を築いた教育者	蛭川 龍夫	115	シュルレアリスムを追い求めた詩人・美術評論家	瀧口 修造
56	文武両道の幕末の剣豪	斎藤 弥九郎	116	イタイイタイ病研究の父	萩野 昇
57	寺社建築の専門家	松井 角平	117	突っ張りて無双を誇った名横綱	太刀山 峰右衛門
58	富山県日本画家の先達	郷倉 千朝	118	日本的なモダニズムを開花させた建築家	吉田 鉄郎
59	写実主義の極致を学んだ日本画家	石崎 光瑠			
60	五箇山地域開発の先駆者	水野 善治			

顕彰者は、平成23年4月発行の「ふるさととやまの人物ものがたり」に登場する郷土の先人。一覧にある先賢者資料は、富山県ひとりづくり財団にあります。申し込みがあれば貸し出します。

富山県教育記念館 1階ギャラリー

教職員退職厚生部富山支部会員作品展



絵画31点
写真11点 工芸24点
学習教室作品17点
書18点
盆栽1点
景石2点



「みんなでコンサート」の作品が心に残りました。一人一人の表情がよかったです。

(参観者)



どの児童もがんばって力強く描いたり造ったり工夫したりしているのがとてもよかったです。紙からはみ出しそうな力強い線、元気に学校生活を楽しんでいるのだなあと伝わりました。

(参観者)

進学してみたい学校の作品が展示してあり、親として参考になりました。

(参観者)



チャレンジデー「開会式」



チャレンジデー「講演会」



デモンストレーション



全工業高校
したデモン
ン、新しい
リートーク、
トづくり教室
豊かなアイテ
フェスタ「チ
となりました

後 期 恒 例 展

富山県造形教育展 12月5日(日)



子供たちの豊かな感性にビックリ。楽しい新鮮な空間に、しばし遊びました。

(参観者)

ロボットの 11月23日(日)



ロボットづくり教室 (半日)

ロボットの 11月23日(日)



ロボットづくり教室 (1日)

高専が参加
トレーショ
みのギャラ
そしてロボッ
今年も内容
エアロボット
レンジデー」



ロボット展会場



美術展



すべての作品が新鮮に感じました。作者の皆さんは今のフレッシュさを忘れずに、新しいことに挑戦して欲しいと思います。

(参観者)

富山大学学生記念書展



どの作品にも誠実さを感じました。今後も是非制作を続けて欲しいです。

(参観者)



版造形教育作品 秀作回顧展



平成4年～6年までの秀作版画作品147点が展示されました。(貸出できます。ご利用ください。)



氷見市立女良小学校



地域の宝「女良っ子」よ、永遠に!

女良小学校は、昭和43年に中田・中波・長坂の3小学校が統合した学校である。本校ほどよく新聞に載る学校は少ないと思う。今年度だけでも、各紙合わせて20回以上掲載されている。これは、「蛇が島学習」や「ワカメ養殖体験」、「棚田学習」、「交通安全わかめ作戦」など、地域と密着した特色ある活動を永年行ってきたためであろう。これらの実績が認められ、これまでに、県知事表彰をはじめ、とやま環境賞、氷見市民表彰、安部賞、中日あおば賞、北日本新聞地域文化賞、交通安全功労者賞等、多くの栄誉ある賞をいただいている。また、今年度は、野球とビーチバレーのチームがそれぞれ2回優勝するなど、スポーツ面でも輝かしい成績を収めることができた。これらの受賞は、明るい話題となって広がり、地域に元気をもたらしている。まさに、子どもは「女良の宝」である。

子どもたちよ、お世話いただいた方々への感謝の気持ちを大切にし、学校で培った「女良っ子魂」で、統合校でも活躍することを期待している。

氷見市立仏生寺小学校



地域に根ざす学び舎で

田園地帯の高台に忽然と現れるのは、地球に着陸した宇宙船だろうか。建築家長谷川逸子氏の設計による斬新な形の校舎で、全校児童26名が学んでいる。

春には校区の中田山で山菜採り。採った山菜は児童が料理して山の恵みを存分に味わう。地域の方々の指導を得て、特産のハトムギやシイタケの栽培にも取り組んだ。地域の自然や人材を生かした学習を通して、地域を愛し大切に思う気持ちが育っている。学び舎ではまた、ハンドボール部児童が練習に汗を流す。全国大会優勝2回・準優勝7回。輝かしい成績の陰には、保護者をはじめとする地域の方々の大きな後押しがある。ハンドボール部の活躍は、子どもたちの自信であり、地域の誇りだ。

明治8年に樺小学校として創立して以来136年。校名や校舎は幾多の変遷を経たが、地域に根ざす教育は連綿と受け継がれてきた。仏生寺を愛する気持ちをそのままに、新たな一歩を踏み出してほしいと願う。

氷見市立宇波小学校



さらなる飛躍を

明治6年創立以来、138年の長い歴史に幕を下ろします。

宇波校区は、三方が緑豊かな山々に囲まれ、立山連峰が浮かぶ有磯海広がる自然豊かな地域です。また、国指定文化財「大境洞窟住居跡」や県指定文化財「朝日神社社叢」などの文化遺産とともに、定置網や民宿発祥の地として知られています。

今年度は、「進んで学ぶ子ども」「助け合う子ども」「たくましい子ども」の育成に努めてきました。学校や子どもたちのことをよく理解し、協力を惜しまない保護者や地域の方々に支えられ、十分な成果を上げることができました。

4月からは現在の校舎を活用し、「氷見市立灘浦小学校」として生まれ変わり、新たな歴史と文化を築いていくこととなります。地域のよき伝統を受け継ぎ、心豊かでたくましい子どもを育成できるように、さらなる飛躍を目指します。

富山県立大沢野工業高等学校

「旭が丘」の地に志気は高く



本校は銀嶺に輝く立山を仰ぐ旭が丘の地に、昭和34年県立富山工業高等学校大沢野分校として呱呱の声を上げ、2年後の昭和36年県立大沢野工業高等学校となり、県下で3番目の工業科単独高校として独立し、今日までの半世紀の間に約1万名の工業技術者を産業界に輩出して来ました。

創校当時は電気通信科(2クラス)のみのスタートでしたが、その後、工業技術の発展や情報化・国際化など時代の変化に対応するため、数次にわたる学科改編を経て、地域から信頼される専門高校として、歴史を重ねてまいりました。

平成22年度からは富山工業高等学校との再編統合が成り、本校の「ものづくり」を中心とした良き伝統は、(新)富山工業高等学校へと受け継がれることとなります。

富山県立有磯高等学校

「地域連携で新たな学習の広がりを」



有磯高校は、能登半島の付け根、富山湾に面した氷見市鞍川にある。

大正8年、当時の氷見郡長大澤章氏の卓越した先見の明により、「氷見郡立農学校」として設立された。戦後、富山県に移管され、昭和23年4月には新制高校「富山県立氷見農業水産高等学校」として農業科、水産製造科、女子農業別科が設置された。さらに、同年9月に「氷見農業水産高等学校」、「県立氷見女子高等学校」、「県立氷見高等学校」が統合され、「県立氷見高等学校」となった。しかし、職業系専門学校の独立の動きが強まり、昭和26年4月に、「県立有磯高等学校」として分離独立することとなった。爾来、農業、水産、家庭系を有する職業系専門学校単独校として、地域を支える多くの人材を輩出してきたところであり、平成21年には創立90周年を迎えた。

各科の専門性を生かして、地域に根ざした教育活動を幅広く展開してきたことが本校の大きな特色である。

富山県立南砺総合高等学校 井波高等学校

地域とともに



本校は昭和24年に富山県立福野高等学校定時制井波分校として創立され、昭和35年に普通科、家庭科、定時制併設の井波高等学校となり、平成17年に県唯一の福祉科を設置した南砺総合高等学校井波高等学校となりました。高校設立にあたっては、井波町の地域発展にかける熱意から建設地の無償提供や校舎の建設負担があり、白亜の殿堂と称された現在の学舎で地域挙げての学校づくりが始まりました。本校を巣立った卒業生は9000名に迫り、井波地域のみならず県内外の各界で活躍されています。「清純・明朗・寛容」を目標とした校風づくりを基軸に国際理解教育や体験学習、ボランティア活動等、地域に根ざし地域に支えられて進めてきた本校教育は、平成23年度末をもって63年間の長きに亘る歴史に幕を閉じることとなります。本校のよき校風と伝統は、新高校である南砺福野高等学校にしっかり受け継がれていきます。

「学ぼう！ふるさと未来」支援事業 報告会開催

平成23年2月18日(金) 富山県教育記念館 21会議室 15:00～

南砺市立 上平小学校

伝統文化や自然を守る
活動を通して育つ子ども



ジュニア観光大使

「つままの舞」



日の出会



ミニ門松作り



高岡市立 太田小学校

伝えよう！
ふるさとの心

高岡市立 平米小学校

ふるさとに愛着を
もつ子どもの育成



紙芝居「利長くん物語」



土倉造りに学ぶ防火の心



高岡城遺構の石垣スケッチ

ふるさと歴史リサーチ



追求結果の発表会



佐伯さん調べ



立山町立 立山小学校

「土着の心」を育む
子どもの育成

魚津市立 上中島小学校

地域のよさを見つけ、
伝える子ども



「枳方城」清掃



歴史民俗博物館へ



学習発表会

平成23年度の展示計画

- ◆特別展「富山県小・中学校 体育140年の歩み」 4月23日(土)～5月22日(日)
- ◆文部科学省「平成23年度採用検定教科用図書」公開展示 6月1日(水)～6月10日(金)
- ◆「児童・生徒によるものづくり展」 6月18日(土)～7月10日(日)
- ◆「さんすう・ワールド展」 7月23日(土)～9月4日(日)
- ◆「子どもの目・自然不思議発見写真展」 9月10日(土)～10月9日(日)
- ◆「退職教職員厚生部富山支部会員作品展」 10月14日(金)～10月23日(日)
- ◆「特別支援学校・みんながんばってます作品展」 10月29日(土)～11月13日(日)
- ◆「富山県造形教育作品展」 11月19日(土)～12月4日(日)
- ◆「アイデア・ロボット・フェスタ」ロボット展 12月10日(土)～1月22日(土)
- ◆「富山県中学校美術展」 2月4日(土)～2月19日(日)
- ◆「富山大学学生卒業記念書展」 2月25日(土)～3月1日(木)
- ◆「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」 3月10日(土)～4月8日(日)



あ
と
が
き

今年度は、新恒例展として、「児童・生徒によるものづくり展」をスタートさせました。「ものづくりは、ひとづくり」の発想で今後も開催していきたいものです。